



2018年10月15日

各位

気候変動アクション日本サミット宣言への賛同について

[中外製薬株式会社](#)（本社：東京、代表取締役社長 CEO：小坂 達朗）は、気候変動対策のネットワーク組織「気候変動イニシアティブ」が10月12日に発表した「[気候変動アクション日本サミット宣言](#)」に賛同することとしましたので、お知らせいたします。

「気候変動イニシアティブ（Japan Climate Initiative: JCI）」は、脱炭素社会の実現に向け、気候変動対策に積極的に取り組む企業や自治体、団体、NGO等の非政府組織による、ゆるやかなネットワークです。一般社団法人 CDP Worldwide-Japan、公益財団法人 自然エネルギー財団、公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン（WWF ジャパン）を事務局とし、脱炭素化を目指す世界の最前線に日本から参加することを目指した取り組みを進めており、中外製薬は、2018年7月6日の発足時より参加しています。

今回発表された「気候変動アクション日本サミット宣言」は、パリ協定が掲げる「世界の平均気温上昇を2°Cより十分低く保つとともに、1.5°Cに抑える努力を追求する」という目標の実現に向け、日本の、そして世界の脱炭素化をさらに加速し、先導していくことを誓い、日本を世界の脱炭素化潮流の発信地にすることを謳うものです。中外製薬はこの趣旨に共感し、賛同を表明いたしました。

中外製薬は、世界の医療と人々の健康に貢献するというミッションの実現に向け、事業活動を展開しています。昨今、財務諸表に表れない企業価値の評価指標として ESG（Environment, Society and Governance）への関心が高まっていますが、健康という大きな社会課題に取り組む中外製薬にとって、ESGは長期持続的なミッションの実現に向けた活動と一体のものです。ミッションの長期持続的な実現のための活動として、地球環境保全への貢献を目指す全社的な取り組みを今後も継続していきます。

以上